

進路だより



秋田県立
秋田きらり支援学校
第8号
平成30年12月21日発行



後期現場実習(高等部)・作業強調週間(中学部)～11月

高等部では、自己理解を深め、卒業後の生活を具体的にイメージする機会として、事業所見学や現場実習が行われました。中学部でも作業強調週間での作業学習や、職場体験、事業所見学が行われ、社会に出てからの自分の姿を思い描くきっかけになりました。



中学部：折染め班～真剣に色付け



中学部：油グッバイ班～紙ちぎりに集中



中学部：職場体験～秋田県社会福祉事業団にて

高等部：後期現場実習、事業所見学先 一覧

秋田市/ひだまり、にのに、よつ葉、さくら家、みなみ風、ほくと、聖和、サンハウス、ふきのとう、うちのあかり、ウェルビューいずみ障害福祉サービスセンター、ウェルビューいずみ共生デイサービスセンター、竹生寮、スクールファーム河辺、インクル・ジョブ、POCHIワン、秋田市役所、ジーンズM.C.D
秋田市以外/ほのぼの岩城、南秋つくし苑、みずばやし、あゆみ、はまなす会ゆうゆう、あきた病院、みちのく療育園

現場実習 評価票～今後の生活に生かす

現場実習後、実習先には「現場実習評価票」を記入してもらいます。

学校ではこの票を参考に、次の目標を定めたり、家庭に協力を仰いだりします。保護者の皆様に、評価が記入された紙面を直接ご覧に入れることはできませんが、必要に応じて面談等で内容をお伝えし、次の目標に向け、本人、学校、家庭が取り組むべき事を共通理解していきます。

「生活介護」の現場実習評価票 (例)

○活動・作業への参加の様子

歯みがきの際、体をよじって車椅子から降りようとしておりました。

○職員や他の利用者とのかかわりの様子

友達とのふれあいを行うことで、朝の緊張が少しずつ和らぎました。

○食事・休憩・入浴等の様子

食事の量が少し足りなかったかもしれません。

○健康状態に関すること・医療面の配慮について

担任の先生と一緒に、表情や発声を観察し、体調について知ることができました。

〈今後に生かすポイント〉

- ・歯みがきの方法や姿勢を見直そう。
- ・家庭にも伝え、同じ方法で支援しよう。

見学や実習から学ぶことがたくさんあります。

「秋田市新成人のつどい」 今年も1/13(月)CNAアリーナで開催です

秋田市では、例年1月に開催される「新成人のつどい」に車椅子で参加する方のために、駐車場の確保、車椅子席の確保、付添者の参加、式典中の退席や救護室の利用等の配慮をしています。開始前後のBGMとして市内各中学校の校歌が流れます。もちろん本校の校歌も流れます。

秋田出身の著名人・芸能人からのメッセージや、ライブなどの企画、式典の後には「恩師とのふれあいタイム」コーナーがあります。学校からも旧担任や進路担当が毎年参加します。これまでの卒業生の参加はまだありませんが、秋田市以外の方も参加できますので、卒業後、2年目の1月は、是非ご参加を！



自分の進む路を探して～後期現場実習より

高等部の進路学習・進路指導の柱となる年2回の現場実習が終わりました。保護者の皆様、お忙しい中御協力いただきありがとうございました。前期から高等部全体で取り組んだ「あいさつ・返事」。後期の評価からは「**自分から 元気に**」という、さらなるステップアップを望む声もあげられました。大切なことですので、今後学部みんなで行っていきたくです。1、2年生については、次年度に向け、家庭でも進路について話題にあげていただき、引き続き担任と相談をお願いいたします。必要に応じて見学や実習も実施しましょう。



自立～排せつ編～

本校の卒業生がお世話になっている事業所から、本校卒業生の強みと弱さを教えてもらいました。強みは、「真面目であること」、弱さは「排せつの自立」と「準備片付け」です。今号では、一人一人の排せつの自立について考えてみたいと思います。

うちの子は、だれかにやってもらわないといけないし…
自立って一人でできることでしょ？

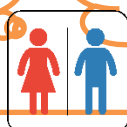


いいえ！その子なりの『自立』ができているとよいのです！下にも書いていることをして
くれると周囲の支援する人はどう思うでしょうか。そこに共通することがあります。

トイレの時に
表情で知らせる

パンツ交換で
おしりを浮かせる

ズボンを下ろすと
自分で排せつできる



これをすると、**周囲の人を楽にすることが**できます。「働く」という言葉には、「はた(傍)をらく(楽)にする」という意味に言い換えられることがあるように、
このことで**周囲の人との関係性がとてもよくなります**。

また、事業所によってはトイレが狭く、立位で介助できるとよいと言われることもあります。一人一人の排せつがステップアップしていくことが大切です。

*「実践キャリア教育の教科書」 菊地一文著 より

